



2022年度

Peach Kokorozasi School Plus

開講式・基調講演

登壇者： 株式会社Sunday Monday
代表取締役 村野 明子氏
講演テーマ：「5食の栄養 カラフルワンプレート」



アンケートは受講者の回答をそのまま転記しております

2022年度PKS+ 第1回アンケート集計結果

研修日：2022年5月17日(火)

登壇者：株式会社Sunday Monday
代表取締役 村野 明子 氏

講演テーマ：「5食の栄養 カラフルワンプレート」

(1) 村野明子氏の講義はいかがでしたか。感想をお聞かせください。

<p>常にいずれかのサッカークラブから仕事を得ており、自らの点が自社・ご自分の強みと捉えているのかお聞きたい。より専門的な栄養科学の知識を持った後発が市場を奪つても不思議ではないと思われる。村野さんは1クラブ目、2クラブ目は、パートナーの人脈で取引（契約）スタートしたとのことだったが、3・4クラブ目はそうではなく、何かしらの強みに期待され、契約に至ったはずでその強みと、強みをいつから意識し、どう磨いてきたのかが興味深く思った。</p>
<p>お恥ずかしいお話ですが、私は村野さんの事を存じ上げてなくて講義を受講させていただいてから、色々調べさせていただきました。 講義を聞いた感想としては、見た目や話し方は、女性らしくほんわかされているのに実績としてはすごいものがあり、きっとこのような方だからこそ日々厳しい中で戦われているスポーツ選手の方達も心を許し癒され、更に食でも癒され本領を発揮することができたのだとおもいました。 私は北海道出身なので、東京の方が北海道に行く決断をされることの大変さも聞いてました。何故かという横浜にも10年程度すんでいたからです。 このころは子育て全盛期で育休中だったので、新横の日産スタジアムは会社も近いですし住んでいた場所にはかなり近いので、ものすごく親近感を勝手におぼえました。 二人目を出産したのはその近くの病院だったななんて思い出しながら聞いてました。また同時に、子供が小さい時の給食センターは大人気の就職先でもありました。 何故かという長期休みが子供と一緒にだからです。 村野さん自身も子育て経験者ということから、給食センターという起業は私にはとても響きました。横浜の給食センターで働いている有能な人を何名か知ってますので紹介したいとおもいました。 一つ気がかりなのが、鳥の胸肉のレシピを何か所聞き漏らしたことです。 我が家の調味料にもナンプラーを追加してみたので、録画UPされたら確認させていただこうと楽しみにしています。</p>
<p>非常に丁寧な話し方で聞き取りやすく、先生の実体験を話して頂き大変興味深く聴講できました。寮母からスタートし試行錯誤しながら成功され起業に至るまでをお話して頂きました。夢を設定することも重要ですが、やはり人生の中で巡ってくるチャンスに挑戦すること、それを実現するための努力が必要と感じました。</p>
<p>寮母生活やアスリートとのエピソード等これまでの活動内容については楽しく聞かせていただいた。起業までの話をもう少し詳しく聞けるとよかったです</p>
<p>講義の序盤は、正直、受講者に女性も多いし、女性目線の講義内容になるのかな、自分はそれほど興味を持ってないかもしれない、と感じていました。 また、講義の内容についても、周りの環境に流されながら、結果的に成功してきた女性実業家の仕事について、「夢を持ち続けた女性が、いかに困難を乗り越えて成功したかというサクセスストーリー」に仕上げた講義なのかな、と感じていました。 ただ、若干感じ方が変わってきたのは、コロナ禍での村野先生の在り方です。今現在、レストランに挑戦しようとしておられるということに衝撃を受けました。 おそらく世間で注目を受けておられるであろう「寮母」というスタイルにとどまらず、さらに大海への挑戦を続けておられることに、感銘を受けました。 おそらく、村野先生は、化粧品販売の仕事においても、きちんとしたお仕事をされてきたのだと思います。その後、専業主婦としても自分のなすべきことを全うされていた。 この講義で自分が最も感じたのは、そういう風に、その時自分に課せられているあらゆる命題に対して、常に真摯に向き合い、信念をもった対応を貫いている人間は、外的要因によりどんなに急激に困難な状況に陥ったとしても、輝き続けることができるということです。 つまり、専業主婦であれ何であれ、その仕事を信念をもって全うしていれば、明日から総理大臣や皇后陛下をやれと言われてもしっかりと全うできる、という風に思うことができました。 今からの自分に活かしていきたいと思います。</p>
<p>化粧品会社時代の経験を「頭の柔らかい時期にたくさんのごことを学んだ」、寮母時代に辛いことがあっても「“いい仕事だ”と自分に言い聞かせているうちにこの仕事が好きになった」とお話を聞いていたのが、とても心に響きました。人は無意識のうちに心の中でネガティブなことを考えたり自責の念で自分を攻撃したりしがちです。でも自分の人生をよい方向に導くのは、結局自分の心の置き方次第、考え方次第、コトダマなんだと改めて考えさせられる1時間でした。とても素敵な時間・言葉をいただきました。ありがとうございました！当日ご本人にはお伝えさせていただきましたが、改めて村野先生によるしくお伝えください。</p>
<p>まず、村野氏が笑顔で楽しそうに話をされている姿がとても印象的で、ご自身の言葉で丁寧にお話頂いたことに感謝する。それによりこちらも楽しい気分になって話に引き込まれていったが、この事から笑顔の重要性と楽しさや明るい雰囲気は周りに伝染するという事を実感し、自分自身の日頃の仕事での振る舞いは周りにどう映っているのか、改めて考える良い機会になった。 講義の内容では、化粧品業界の仕事から、出産を経てJリーグチームの寮母になられた、言わば全く違う分野への挑戦をされる経緯について興味深く拝聴した。その中で「覚悟を決める事で次の扉が開かれる」という言葉があったが、村野氏の生き生きとした姿を見て、私もこの先何歳になっても新しいことに挑戦する意思と行動力は失いたくないと感じた。 また、「寮母の仕事をやりたい訳では無かった。良い仕事だと自分に言い聞かせた」という内容があったが、自分自身も始めから今の仕事をしたかったという訳ではなく、目の前の仕事を一生懸命やることで周りから応援を得られたり、楽しさを見出して行く中で今の仕事が好きになっていった事を思い出し、大変共感した。「好きなことを仕事にする」、一方で「やって行くうちにその仕事が好きになる」、結果としてどちらも仕事楽しいという事であり、それは非常に幸せな事だと思う。今後、部下が楽しいと感じる職場を創っていくことの重要性を再認識し、その為にまずは自分自身が笑顔で明るく仕事をする事を徹底して行きたい。</p>
<p>様々な事を経験されている村野さんのお話を拝聴し、特に、『夢を持つ・言葉・現実』に、勉強するよりも『仕事を楽しむことが学び』につながる、『当たり前前のごことを当たり前』に、『覚悟することで次の扉が開かれる』という言葉が印象に残り、自身でも実践してみようと思いました。</p>
<p>村野講師から、様々なエピソードと共に「やりたいわけではなかった」→「やるしかなかった」→「この仕事はいい仕事だと自分に言い聞かせた」→「気付けばこの仕事が好きになっていた」という心境の変化をお聞きし、様々な人と出会い、縁を大切に、その時々において覚悟をして全力で仕事に取り組んだことでチャンスを掴み、道が開けたのだと感じました。そしてその根本には「夢を持つこと」があると感じました。 私自身、仕事に対しては全力で向かい、日々チャレンジしていますが、根本である夢を明確に持っていないと感じ、本当に自分の目指すところは何かを明確に持とうと思えます。また、今回の研修を通じて出会う様々な人との縁を大切に研修に臨んでいきたいと思えます。</p>

村野様のお人柄が表れている、実体験に基づく素晴らしい講義でした。

「夢をもつこと」の大事さを学びました。夢の大小は人それぞれですが、夢がないと目標設定ができない。目標設定がないと、何をどれだけがんばれば良いのかわからない。「自分らしく生きていく」その延長線上に夢をもち、それを目掛けてマイルストーンを敷いて努力すれば結果がついてくることを、改めて知らされました。

講義の大半が、料理に関する内容だったので、少々残念でした。仕事に対する姿勢、起業に至るプロセス、得た学び等に、より焦点をあてていただきたかったです。自身の仕事に対する姿勢と括りつけて拝聴すれば、違って聞こえるはず、とのコメントがあり、仰る通りだとは思いますが、本研修に臨むにあたり、その姿勢で参加するつもりで、自身の襟を正したい、と思いますが、開講式の基調講演として上長が聞いていたとすれば、どんな学びを得られる研修なのか、正直、疑問を感じたのではないかと、思います。

講演タイトルから、自身の業務や生活と照らしてどれ程身近に受け止められる内容か疑問をもちながら臨んだ講義でしたが、それは誤った先入観であり、自分事として受け止めて気づきを得られた内容でした。

講師の控えめなお人柄もあって前半は受け身の姿勢で寮母を始められたようなお話でしたが、その後、給食会社の起業というまさに能動的、主体的なアクションをとられた場面は、とても鮮やかで彩に満ちた印象を受けました。

ただ、ここで見過ごしてはならない重要なことと感じたのが、起業という印象の強い点（だけ）ではなく、それまでの間取り組んでこられた寮母としての役割への向き合い方です。きっかけは受動的な（与えられた）役割だったかも知れませんが、どうすれば寮生の健康面を最大限サポートできるか、真剣に、熱意をもって、粘り強く、継続的に、創意工夫を凝らしながら取り組まれてきたことこそ、村野さんの真の素晴らしさがあると感じました。（例えば起業は、そういったプロセスの結果として生まれたもの。）

私自身、社内の人材育成業務を担う中で、社員一人ひとりが「主体的、自律的」であることを目指して働き掛けを進めているところですが、今回の講義を通して、より基本的、本質的なこととして、たとえ与えられた環境、仕事であってもそれら一つひとつに真剣に向き合い取り組むことの大切さを伝えていかなければならない、という貴重な気づきを頂きました。

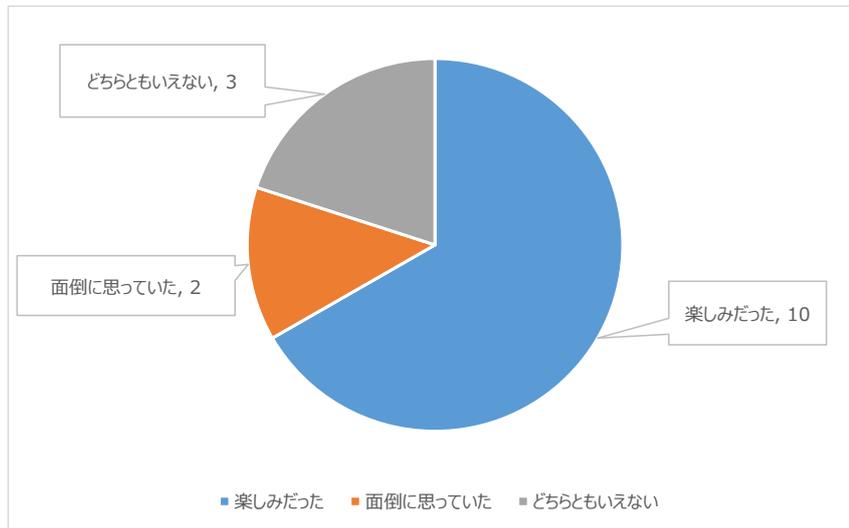
専業主婦からレストラン経営に至るまで、ご自身の体験・経験を基に述べられており、非常に親近感のある講義であった。特にPWBSの方々は同じ女性として、ご苦労等共感できるものがあつたのではないかと、思う。村野先生は夢を持ってそれに向かって邁進した訳ではないようだが、継続して料理に携わったことで、夢達成への道が開けたのだと思う。

「夢→言霊→現実」、まずは夢を持つこと、そしてその夢に関係するスキルを向上することが大事だと改めて思った次第である。

内容が素晴らしかったのはもちろんですが、一番感じたことは、語り口がとてもやさしくこちよく、話がどンドン心に浸透してくるような講演でした。講演を聞く機会は少なくはないのですが、話され方でこのように感じたのは初めての経験でした。お人柄が話し方ににじみ出るとはこのような方のことなのかとても感銘を受けました。

村野先生には今まで携わってこられた仕事を細かくご説明頂き、ご自身のお考えも明確におっしゃられていたので、非常に親身になって講義を聴くことができました。中でも「仕事は楽しむ」という事についてはとても共感できましたので、楽しいことばかりではないと考えますが、できるだけ楽しんで業務に取り組めるようにしていきたいと思えます。

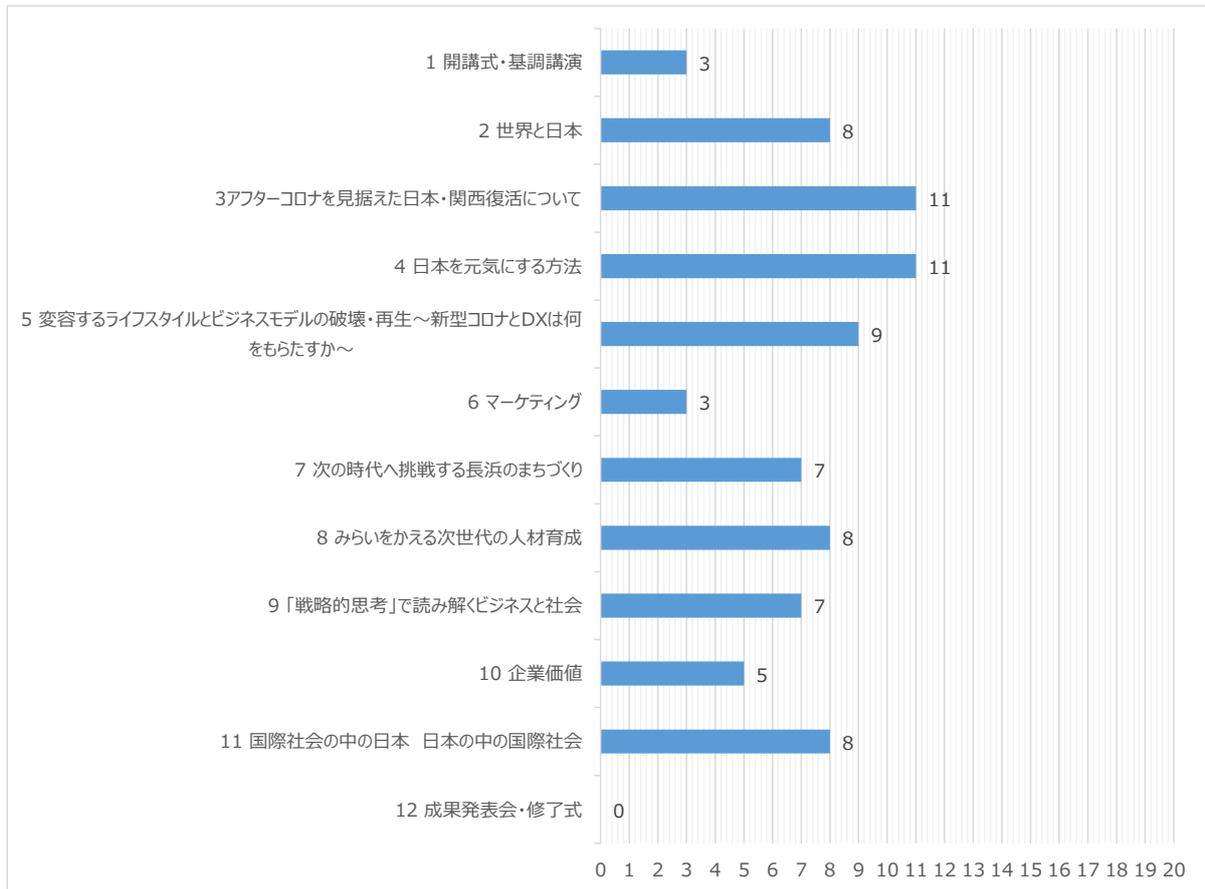
(2) 研修受講前の気持ちを教えてください。 【楽しみだった、どちらともいえない、面倒に思っていた】



その理由を100文字以内でご記入ください。

業務過多のため。
研修の意図や目的は社内で聞いていました。 内容は興味がありましたし楽しみと感じると同時に 私自身が参加することが場違いではないのかという部分を気にしていました。
専業主婦から寮母という経歴を資料で確認しましたが、寮の食事は大量の肉類と炭水化物を想像していたので、先生が家庭料理からスポーツ選手の食事を作ることになり、どう工夫されたのか気になりました。
豪華な講師の方々による研修は興味深く楽しみであるが、 事前課題等研修時間以外にどの程度時間を要するかわからないため
はじめ、PKS受講の打診があったとき、講師の方々のお名前（特に、西先生と本庶先生のお名前）を見て、とにかく驚きました。 この研修を活かすか殺すかが、自分の人生の分岐点となるような予感がしています。
自分で申し込む自己研鑽のセミナーなどでは絶対出会えないような講師陣で大変楽しみにしておりました。
著名な講師の皆様から様々な分野のお話を直接伺える貴重な機会であること、また、異業種で活躍されている受講生の皆様と交流させて頂く事で、自分自身の考え方や視野を広げる良い機会にしたいと考えている為。
著名な講師陣の方から多くの学びを経て、自己成長できると思っていたため。
研修受講前は、楽しみ半分、会社の代表として参加させていただいているというプレッシャーもあり、緊張して臨みました。
日常での業務は社内対応が中心なので社外の方との交流を持てることをとても楽しみにしています。
上司から、今後の研修体系も含め勉強してくるようとの指示。自分の為というよりも、会社の為の意識が強かった。
事前に、年間の講師の方々の情報をいただいておりますので、大変楽しみでした。
他社、異業種で活躍される方々と様々なテーマについて時間をかけて共に学び議論させて頂けるような機会は得難いものであり、自身の経験、視野の棚卸しや今後のあり方に大きな気づきが得られるものと期待するため。
業務が非常に多忙であること、また課題・レポート作成があることへの憂鬱感。
普段お会いする機会がない方々との交流や、著名な方々の講演、講話も拝聴することができると聞いておりましたので、非常に楽しみにしておりました。
今まで仕事は、お客様最優先で対応させて頂いておりました。5月17日の講義が今期の大型案件の打ち合わせと日程が重なり、欠席することでお客様に迷惑をかけること心配をしていました。しかし、講義趣旨を理解して頂き日程を変更して頂きました。 今後は本研修を優先させます。 代理人がきく案件については社内で調整して対応してまいります。

(3) 興味を持ったカリキュラムはどれですか。(複数回答可)



(4)1年間の意気込み

日本・世界を代表する知識人各位の、多角的もの見方や、思考に際した多角的な着眼点を学びたい。自分としてはここ数年社内的な業務が多く、視野が狭くなっているという危機感を覚える。異業種交流により常識の幅を広げたい。
このような機会を与えていただいたことに感謝して、学べるということにありがたみを感じながら学びたいです。与えられた課題や自分のインスピレーションを大切に、価値観や概念を色々な観点から見つめなおす一年にしたいです。
研修と異業種の方との交流により、広い視野を身につけたい。
様々な分野の講師の方々や異業種の受講者の方々との積極的な意見交換、質疑等により気づきを得、知見を広げたい。また、受講者の方々と研修内外で親睦を深め、楽しい研修としたい。
とにかく楽しみな講義が多いので、講義内容に自分の考えを重ねて、議論を深めることができるように努めていきたいです。また、PKSのブッキング力には驚くばかりであり、そのノウハウもお聞きできる機会があればありがたいと思っています。他の受講者の皆さまとの交流も含めて、自分が成長できる良い機会にしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
今も将来も幹部を目指していない私がこんなすごい研修に参加していいのかとは思いますが、せっかく会社にこんな機会をいただいたので、精一杯学び、精一杯インプット&アウトプットしたいと思います。これから1年間よろしくお願いします！
今回の研修を自分自身の今後の仕事や人生のプラスに出来る様、1年間真剣に取り組んでいく所存です。酒井社長様はじめピーチコーポレーションの社員の皆様、講師の先生方、受講生の皆様、1年間宜しくお願い致します。
多くを学び1つでも自身の糧にして実行して成長することで会社の成長に貢献したいと思っています。宜しくお願いいたします。
日常業務では得ることのできない貴重な機会なので、自分のために誠心誠意取り組んでいきます。また様々な人との縁を大切に研修に臨んでいきたいと思っています。
年齢に関係なく成長できると考えていますので受講生の皆さんと切磋琢磨しながら成長したいと思います。
文化や考え方の違う皆さまと会話をすることで、自分の視野を広げ、知見を深めて行きたいと思っています。
素晴らしい講師の皆さまからインプットをいただける、大変貴重な機会をいただきましたので、自身の視座を高められるよう、積極的に参加いたします。また、社外のネットワーキングの場として、受講者の皆さまとも楽しく関わらせていただきたいと思います。
1年間を通して一つひとつのプログラムに熱量高く主体的に参画し続け、今回の得難い機会を自身にとって最大限に実りあるものにします。また、(自身だけでなく)他の受講生の皆さまに対しても一つでも多くの気付き、刺激を与えられるよう取り組みます。
まずは皆勤し、多彩なカリキュラムの中から今後役に立つことを吸収し、多様で柔軟な思考を持てるようにしたい。また、異業種の方々との交流も楽しみにしている。
いろいろな方々と交流を深め、知見を広げていくことで、人としての視野を広め、自己の仕事や社会への貢献度を少しでも高められればと思います。
今後講師のご講義を聴くことが非常に楽しみです。また異業種の方々と交流を深めて、少しでも自分の視野を広げ、自己成長していければと思います。1年間宜しくお願い致します。